

1 いよいよ始まります！

“プロ”としての意識を高めるために行動しよう

6月から、すべての職場において2ヶ月ごとに決められた「月間目標」に従い実施します。ご協力のほどお願いします。業務担当者の点検や本社からの抜き打ち点検等もあります。これは、決して“あさがし”をするわけではなく、プロとして自分自身を厳しい目でみて、レベルアップしていただくために行うものです。

インフルエンザやかぜを予防するために咳や鼻水などが飛び散ることにより人に感染する病気では「咳エチケット」を守り、人にうつさないようにすることが大切です。

咳エチケットにご協力ください



つねに手洗い・

うがいを心がけましょう！

手洗いの方法



◆正しい手洗いの方法

正しい手洗いの方法は、感染を予防するためにもっとも基本的で重要な方法です。

◆うがいの方法

- ①口の中の食べ物のカス等を除くため、少し強くうがいをする。
- ②上をむいて、のどの奥まで水が届くように15秒程度うがいをする。
- ③同様にもう一度15秒うがいをする。



2 「ひとをよろこばす達人」って、こんな人たちです！



豊岡病院配属 駐車場警備員

思いやりの行動は、された人もそれを見ていた人も幸せな気持ちにな〜る♪

A病院職員のSさんは、常々豊岡病院の駐車場警備員の愛想も良くとても親切に対応していることに感心されていました。どこの会社の警備員かはご存じなかったのですが、ある日、当社の業務社員(A病院の日常清掃担当)にその話をされた時、当社の業務社員：「豊岡病院の駐車場警備員は当社の社員なんですよ。」

Sさん：「エッ！浄美社の警備員さんでしたか、いい人を配属されていますね！その警備員は、車椅子が必要な患者さんに素早く車椅子を用意したりと、見ていて気持ちがよかったです。」と、とてもほめてくださったそうです。

この話を聞いて、「目から鱗」です。達人の何気ない行動は仕組みされているわけではなく、ひたすら思いやることだけの結果が互いの喜びになると考えていましたが、周囲やその様子を目にされた人までが幸せな喜びに満ちてくるとは…
まさに「キレイに真剣」は伝播される！



3 ヒヤリハット NEWS

多発! 針刺し事故

針が危険なこともわかっている。

針を素手でつかんでいけないこともわかっている。

でも、針刺し事故が起きてしまいました。

針にも多くの種類があり、すぐに針とはわからない形のものもあります。また、血液などが付着した感染の危険があるものが落ちている場合もあります。床面に落ちているものを拾うときは手袋を着用し、道具を使用して回収してください。

ゴミ収集・運搬時も含め、手袋をしているからと言って油断せずに行動してください。



事例1

病室のベッド下のゴミとホコリをかき出していた時に何か不明の固体物を見つけて、つつい素手でつかもうとして人差し指を刺してしまいました。

事例2

病室で、TV台の下に画びょうが落ちていたと思い、手袋をした左手でつかみ、利き手の右手に持ち替えたときに親指に針を刺してしまいました。

! 廊下や病室の床などに落ちている針を見つけたときは…

- ①看護師あるいは医療従事者に報告する。
 - ②患者さまや訪問者の方に危険がおよぶ箇所に落ちている場合は、道具を使い危険がおよばない場所に移動させてください。素手では決して触らないこと。
 - ③患者さまや訪問者の方に危険がおよぶためすぐに撤去しなければならず自分で針を拾わなければならない場合は、素手では触らず手袋を着用して拾い針捨てボックスへ針をすてること。
- ①②を行い、やむを得ない場合に限り③を用心して実施して下さい。

■針刺し事故が発生したら、すぐに以下のように処置をして下さい。

- ① 針が刺さった部分の血を押し出すようにし、流水で流す。
- ② 看護師に「(どこで)、(どのような作業中)、(どこに) 針が刺さりました」と報告し、診療を受ける。現場責任者、業務担当者に連絡する。

